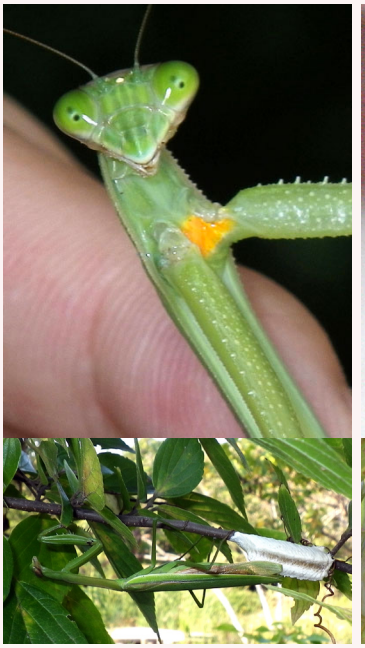
生命のにぎわい調査団
生命のにぎわい通信
第 42 号：発行　平成 29 年（2017 年）4 月

発行：千葉県環境生活部自然保護課
千葉県生物多様性センター
〒260-8682　千葉市中央区青葉町 955-2
（千葉県立中央博物館内）
TEL 043-265-3601　FAX 043-265-3615
URL http://www.bdcchiba.jp/monitor/
E-mail monitor@bdcchiba.jp

千葉県のカマキリの見分け方を覚えよう！

調査団では「カマキリ」としてたくさんの報告をいただいていますが、残念ながら背中からの写真がほとんどです。オオカマキリとチョウセンカマキリは大きさも体型も良く似ており、背中の写真では区別できません。カマキリの仲間を識別するとき大切なのは、鎌の付け根（前胸部）を見ることです。千葉県で見られるカマキリ８種を見分けるポイントを紹介します。（撮影者表示のない写真は、生物多様性センター 中込 哲 撮影）

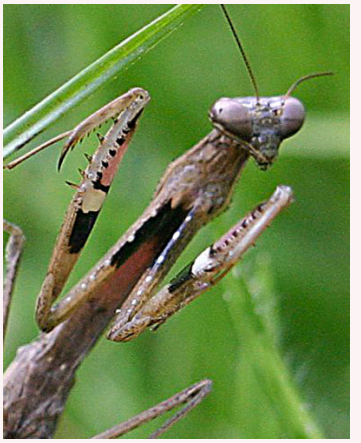


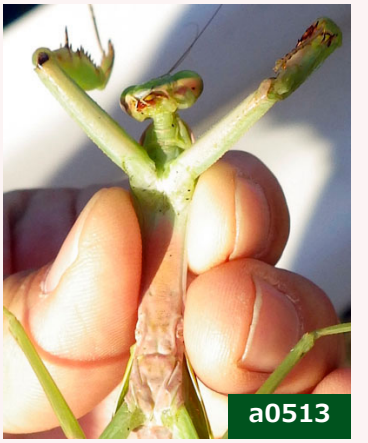
オオカマキリ
最大 95mm ほどで、チョウセンカマキリに似る。胸部の斑は黄色。数が多く、見つけやすい。

チョウセンカマキリ
最大 90mm ほどでオオカマキリに似るが、やや細い。胸部の斑はオレンジ色。数が多く、見つけやすい。

ハラビロカマキリ
最大 64mm ほどでずんぐりしている。胸部に紫色の横斑がある。鎌に黄色い斑が 4 つある。樹上性だが多く、見つけやすい。

ヒナカマキリ
最大 18mm ほどの小さなカマキリ。成虫も翅が無い。房総丘陵で見られるが、非常に小さく、見つけるのは難しい。





ヒメカマキリ
最大 32mm ほどでずんぐりしている。驚くと脚を縮めて下に落ちる。雑木林の林床で生活するため、見つけづらい。

コカマキリ
最大 63mm ほど。鎌の内側に紫色の斑がある。褐色型が多く、緑色型は少ない。数は多いが、見つけにくい。

ウスバカマキリ
最大 70mm ほどでコカマキリより大きい。鎌の付け根に黒斑またはドーナツ状の斑がある。記録が少なく、現状は不明。

ムネアカハラビロカマキリ
最大 80mm ほどになると思われるが、詳細不明。胸部は赤茶色。鎌に黄色い斑が多くある。外来種。2017 年に県内初確認。

最新の生物多様性に関する情報、各種講習会の情報は、当センターと調査団のホームページをご覧ください
「生物多様性センター」http://www.bdcchiba.jp/　「調査団」http://www.bdcchiba.jp/monitor/index.html

平成 28 年度 生命のにぎわい調査フォーラムを開催しました

平成 29 年 3 月 4 日（土）

生命のにぎわい調査団は、この 3 月で設立から 8 年 8 か月が経過し、団員数は 1,235 名、報告件数は延べ約 82,000 件（1 年間で約 16,000 件）となりました。調査フォーラムには 83 名（団員 61 名、団員以外 13 名、職員 9 名）が参加して、千葉県の生き物について最新情報を交換しました。

1　講演「千葉県の水生生物（淡水魚類）」　生物多様性センター 副主査　鈴木 規慈
　千葉県の淡水魚類の紹介と、調査ポイント、注意事項、市民参加型淡水魚調査（滋賀県の例）等。

2　講演「千葉県のカマキリ」　生物多様性センター 嘱　託　中込 哲
　団員からの報告にあるカマキリの紹介と、今後見られるかもしれないウスバカマキリ等の解説。

3　報告「調査団の生き物調査報告のデータ解析」　生物多様性センター 副主幹　御巫 由紀

4　調査団員からの情報提供・観察事例紹介
　①「千葉公園のキンクロハジロ」 小原 邦夫（a1065）
　②「オオタカの観察」 高見 等（a0195）
　③「野外におけるアメリカヒドリの雌の見分け方」 高田 喬（a0708）・池田 日出男（a1006）

［最優秀賞］
セミを呑んだシュレーゲルアオガエル

同時開催！ 写真コンテスト

フォーラム参加者の投票により、応募された力作 54 点から最優秀賞と優秀賞を決定しました。今年度も以下のように、応募全作品を展示しています。

トピックス展「生命（いのち）のにぎわい」

～ 生命のにぎわい調査団 生物多様性 写真展 ～

平成 29 年 3 月 7 日（火）～ 5 月 7 日（日）　中央博物館常設展示室廊下

※ 観覧には博物館の入館料が必要です

［優秀賞］
重いっす・・・！（オオタカ）

平成 29 年度 第 1 回現地研修会 in 畔田谷津（佐倉市）開催のお知らせ

平成 29 年 5 月 13 日（土）

午前 9:30 ～ 午後 2:50　畔田谷津（佐倉市）

佐倉市西部の畔田谷津で、春の生きものを観察します。
森と谷津の生きものだけでなく、上手繰川でカメ調査も見学します。

千葉県レッドリスト植物・菌類編が発刊されました！

千葉県では平成 21 年に植物・菌類編のレッドデータブックを作成しました。その後、 7 年の歳月が流れ、県内の自然環境には様々な変化が生じています。そこで、県内に分布する植物と菌類の保護上の重要性を再評価し、リスト形式で表した千葉県レッドリスト植物・菌類編を平成 29 年 3 月に発刊いたしました。このリストは生物多様性センターのウェブページからダウンロードできますので、ご活用ください。

＜これからの季節に観察できる生きもの＞

○調査対象種：キジ、ホトトギス（初鳴き）ヒガシニホントカゲ、サワガニ、キンラン、オオキンケイギク（外）など
○調査対象種以外（種の同定が難しいため、できるだけ写真の添付をお願いします）
＊渡りのヒタキ類、サシバなどの猛禽類　＊各種昆虫、両生類、爬虫類など
＊希少生物（生息・生育数が減少している生物）や、外来生物の報告も受け付けています。

メールアドレスなど、団員登録情報に変更がありましたら、事務局までお知らせください